

技術概要書（様式）

※別

技術分類	安全・防災 維持管理 環境 コスト ICT 品質 （該当する分類に○を付けてください）											
技術名称	ニューレスプ工法	担当部署	事務局									
NETIS登録番号	QS-110014-V 設計比較対象技術	担当者	榊 裕尚									
社名等	福岡県ニューレスプ協会	電話番号	092-271-6461									
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機 ReSP(レスプ)工法は、老朽化した吹付コンクリート法面をはつり取らない補修・補強工法として、これまでに200件近くの施工実績を積み重ねてきました。 公共工事における建設コスト縮減に対応すべく、ReSP工法の特徴の一つである、繊維補強モルタルの材料である鋼繊維のかわりになる材料について検討しました。多数の試験の結果、特殊な有機繊維「BCファイバー」を開発しました。「BCファイバー」を用いた繊維補強モルタルは、鋼繊維補強モルタルの品質と同等でありながら施工性に優れ、その結果としてReSP工法よりコストパフォーマンスに優れた工法であることを確認しました。 2. 技術の内容 ニューレスプ工法は、既設法面の吹付効果が喪失する前に、老朽化したコンクリート(モルタル)を剥ぎ取らず、補修・補強することによって、法面保護効果を高める、法面再生技術です。本工法は、以下の手順で法面全体を複合的に補修・補強します。(図-1、図-2 参照) ① 補強鉄筋工等により、既設吹付コンクリートと背面地山を一体化し、表層崩壊を防止する。 ② セン断ボルトにより、既設吹付面と新設繊維補強モルタルとの一体化を図る。 ③ 有機繊維「BCファイバー」入りのモルタルを吹付ける。BCファイバーの補強効果により、じん性が向上し、ひび割れ巾の拡大を抑制できる。 3. 技術の効果 ・はつり取り作業がないため、作業の安全性、第三者、通行者、通行車両への影響や危険性を抑制できます。また、従来のような防護柵を必要とせず、簡単な安全柵ですむため、工期は従来工法に比べ短縮でき、コスト縮減が図れます。 ・老朽化した吹付モルタル・コンクリート法面をはつり取らずに機能回復することにより、産業廃棄物の発生を抑制できます。 ・「BCファイバー」を用いた有機繊維補強モルタルを使用することにより、一般的施工機械(湿式吹付け機)でも吐出口、ホース内、ノズルにおいて閉塞することなく安定した吹付が可能となります。 ・補強鉄筋工や高品質の繊維補強モルタル吹付工等により、耐久性の優れた法面が形成できます。 ・鋼繊維とくらべて有機繊維は、吹付時の連続搬送が可能となり、材料の跳ね返りが低減し、作業員への負担が軽減されます。 4. 技術の適用範囲 老朽化した吹付けモルタル・コンクリート法面を対象とするが、その地山表層の風化領域が0.5m程度の厚さまでの場所(それ以上は、別途、鉄筋挿入を検討する)。また、プラントヤードから施工箇所までの材料搬送(圧送)距離が以下の範囲であること。 ・エア搬送方式 直高+45m～-40m ホース延長100m以内 ・ポンプ圧送エア併用方式 直高+60m～-60m 配管長(含むホース)200m以内 5. 活用実績 <table border="0"> <tr> <td>国の機関</td> <td>29 件</td> <td>(九州 7件、九州以外 22件)</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>106 件</td> <td>(九州 43件、九州以外 66件)</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>16 件</td> <td>(九州 7件、九州以外 9件)</td> </tr> </table>			国の機関	29 件	(九州 7件、九州以外 22件)	自治体	106 件	(九州 43件、九州以外 66件)	民間	16 件	(九州 7件、九州以外 9件)
国の機関	29 件	(九州 7件、九州以外 22件)										
自治体	106 件	(九州 43件、九州以外 66件)										
民間	16 件	(九州 7件、九州以外 9件)										

6. 写真・図・表



図-1 ニューレスプエ法模式図

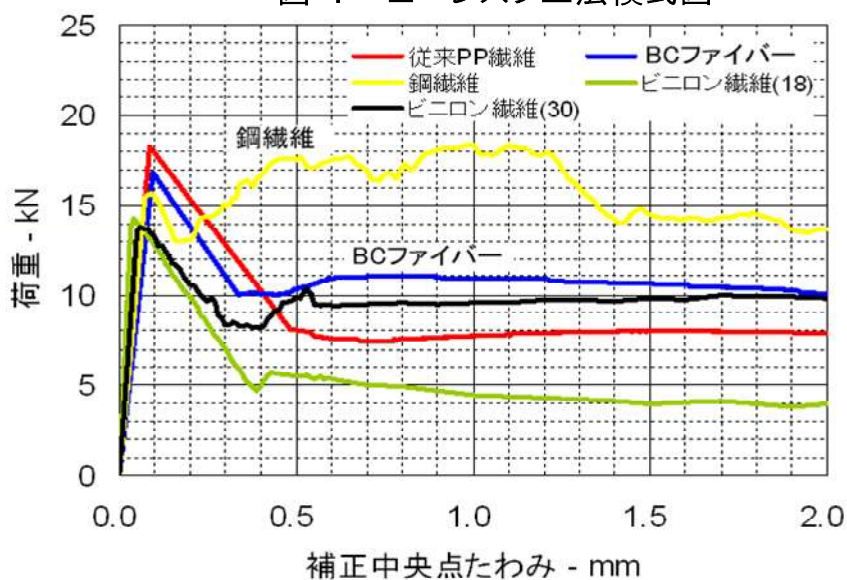


図-2 各種繊維補強モルタルの曲げタフネス試験

施工前



施工後



写真-1 施工箇所全景